



奈良県感染症情報

令和元年 第 42 週(10 月 14 日～ 10 月 20 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	RS ウイルス感染症	2.56	(3.53)	↘	↘	↘	↓
1	感染性胃腸炎	2.56	(3.41)	→	↘	→	↘
3	A群溶連菌咽頭炎	1.03	(2.03)	↘	→	↘	↓
4	手足口病	0.62	(0.85)	↘	→	↓	↓
5	突発性発しん	0.41	(0.38)	→	↘	↗	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

RS ウイルス感染症の報告数は減少しているものの、流行は続いています。引き続き感染予防に努めてください。感染性胃腸炎の報告数は横ばいです。例年、初冬から増加しはじめるとされており、今後の流行状況に注意が必要です。

インフルエンザは、ほぼ全ての保健所で報告がありました。報告数は16件で、前週(10月7日～13日)より増加しています。

RS ウイルスやインフルエンザは、飛沫感染や接触感染により感染します。手洗いや「咳エチケット」、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を心がけ、日頃から感染予防に努めましょう。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(矢追医院)

感染症は幼児の RS 以外は目立ったものは無い。伝染性紅斑が増えているが、疾患の性格上必ずしも医療機関を受診するとは限らず、不明である。インフルエンザは修学旅行生等他地区からの方がみられるが、地元の方はみられない。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

RS の流行が持続。咳嗽の姉からの罹患と思われる生後1か月男児の陽性例があった。

経過は比較的軽度で外来で Follow。

他に RS 疑いの喘鳴の強い1歳台乳児が3例続いてあった。

A 群溶血性連鎖球菌陽性例が増加。発熱以外症状が顕著でなく発疹も認めない4歳男児で初診時に両手指皮膚剥離を認めた例があったが、想定される先行感染はなかった。同時に母親37歳も陽性であった。インフルエンザはまだない。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

A 型インフルエンザが増加。全体的には散発だが、一部小学校では流行している。

RS ウイルス感染も続いている。また胃腸炎も増加してきた。伝染性紅斑も多い。

夏カゼは減少、マイコプラズマ感染症も多くない。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 1 年 第 42 週 10 月 14 日 ~ 20 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ	16 (0.29)	10 (0.71)		1 (0.09)	1 (0.10)	1 (0.50)	3 (0.75)	
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	87 (2.56)	21 (2.33)	7 (0.78)	23 (3.29)	35 (5.83)		1 (0.50)	
咽頭結膜熱	5 (0.15)		5 (0.56)					
A群溶連菌咽頭炎	35 (1.03)	11 (1.22)	9 (1.00)	9 (1.29)	6 (1.00)			
感染性胃腸炎	87 (2.56)	27 (3.00)	12 (1.33)	12 (1.71)	34 (5.67)		2 (1.00)	
水痘	1 (0.03)		1 (0.11)					
手足口病	21 (0.62)	12 (1.33)	4 (0.44)	3 (0.43)	2 (0.33)			
伝染性紅斑	13 (0.38)	6 (0.67)	3 (0.33)		2 (0.33)		2 (1.00)	
突発性発しん	14 (0.41)	1 (0.11)	2 (0.22)	5 (0.71)	6 (1.00)			
ヘルパンギーナ	1 (0.03)		1 (0.11)					
流行性耳下腺炎	1 (0.03)			1 (0.14)				
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	3 (0.30)	1 (0.33)		1 (0.50)	1 (0.50)			
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎	1 (0.17)				1 (1.00)			
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核5件(奈良市2、郡山1、中和1、内吉野1)
3類感染症	
4類感染症	レプトスピラ症1件(奈良市1)
5類感染症	梅毒4件(奈良市2、郡山1、中和1) 播種性クリプトコックス症1件(中和1) 百日咳1件(郡山1、16歳)

❖ 第42週のトピックス ❖

◆ 国立感染症研究所：令和元年台風第19号関連・地域の感染症発生状況と感染症対策について(2019年10月18日現在)

<https://www.niid.go.jp/niid/ia/disaster/r1-typhoon19/2478-idsc/9165-r1-typhoon19-ra.html>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段：報告数
(下段)：定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男			2				1					1	5					1			10	5697
	女												5		1							6	5904
RSウイルス感染症	男	6	9	15	7	4	6		1													48	897
	女	2	5	16	4	7	3		2													39	778
咽頭結膜熱	男		1	1								1										2	400
	女			2																		3	276
A群溶連菌咽頭炎	男			1	2	1	3	1	2		1	2	2									15	1362
	女			2		3	3	1	5	2	1	2	1		2							20	1045
感染性胃腸炎	男		4	4	7	8	8	4			1	2	3	3	2							46	3715
	女		4	2	5	5	9	3	2	1		2	1		7							41	3375
水痘	男												1									1	198
	女																						136
手足口病	男		1	4	3	1	2		1													12	1650
	女			4	2		1	1			1											9	1408
伝染性紅斑	男					3	1	2		1	1											8	277
	女						2	2	1													5	258
突発性発しん	男		1	6	1				1													9	313
	女			4	1																	5	239
ヘルパンギーナ	男						1															1	423
	女																						396
流行性耳下腺炎	男																						39
	女					1																1	38
急性出血性結膜炎	男																						
	女																						
流行性角結膜炎	男				1																	1	132
	女															2						2	123
細菌性髄膜炎	男																						9
	女																						6
無菌性髄膜炎	男																						12
	女																						9
マイコプラズマ肺炎	男			1																		1	26
	女																						30
クラミジア肺炎	男																						
	女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						46
	女																						35

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

■ R1 ▲ H30 □ H29 〰 過去10年平均

